

アニメーション作家

# 黒坂圭太 特集

世界初公開！(7月15日)

『MATERICA』

待望の新作『マチェーリカ  
三部作一挙公開  
ドローイング・アニメーション

等上映！(7月14日)

新作『山川景子は振り向かない』  
『蓄音機13号』  
幻の映画『ソナタ第一番』

黒坂圭太でしかありえないという独自の映像世界を作り上げているにかかわらず、彼は満たされないという負の世界に身を置いている(伊藤高志) その狂おしいほどの渴望と怒りが映像に絶大な力を与えている(伊藤高志)



15:00  
緑子 / MIDORI-KO  
(2010年 デジタル 55分)

1万年に一度だけ地上を照らす「マンデーの星」の大きな力によって誕生した夢の食物「MIDORI-KO」をめぐる、科学者たちと学生のみどり、アパートの住人たちによる食欲むき出しの争奪戦が始まった。10年以上の歳月をかけて完成させた、全編鉛筆の独特のタッチと色彩による奇想天外な黒坂圭太初の長編アニメーション映画。

17:00  
16mmアニメーション映画プログラム

みみず物語 (1989年 16mm 15分)  
個人都市 (1990年 16mm 25分)  
春の冒険 (1991年 16mm 15分)  
箱の時代 (1992年 16mm 30分)

19:00  
黒坂圭太 幻作&新作プログラム

ソナタ第1番 (1985 8mm 40分)※デジタル版上映  
蓄音機13号 (1993 16mm 20分)  
東京初公開 山川景子は振り向かない (2017年 デジタル 10分)

## 黒坂圭太 特集

2017年7月14日(金) 幻の映画『ソナタ第1番』『蓄音機13号』& 最新『山川景子は振り向かない』等上映！

2017年7月15日(土) 最新ドローイング・アニメーション三部作一挙公開 待望の新作『マチェーリカ/MATERICA』世界初公開！

近年、鉛筆画による抽象ドローイング・アニメーション映画を連作してきた黒坂圭太の現在を探索の必見のプログラム 初公開となる『マチェーリカ/MATERICA』、『山川景子は振り向かない』で表現の行き着いた先とは？

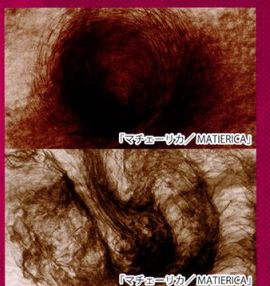


19:00 陽気な風景たち (2015年 デジタル 25分)  
マチェーリカ / MATERICA (2016年 デジタル 30分) 世界初公開  
山川景子は振り向かない (2017年 デジタル 10分)

上映後に、最新ドローイング・アニメーション三部作をめぐる、伊藤高志(実験映画作家)と黒坂圭太によるトークセッションあり

### 黒坂圭太

1956年生まれ。1984年異色の短編『変形作品第2番』でデビュー後、アニメーション表現を主軸として多様な創作活動を展開。二人国際アニメ映画祭(アヌシー、オタワ)をはじめ国内外で多数受賞。3万枚の鉛筆画による長編アニメ映画『緑子 / MIDORI-KO』(2010)は世界各地で上映される。近年はDIR EN GREY『輪郭』(2012)等のMVをはじめ即興アニメや描画ライブも行う。武蔵野美術大学教授。



# 2017年7月14日(金) 15日(土)

7月14日【金】 1回券 1000円 高校生以下1回券 500円 1日券 2500円  
7月15日【土】 予約 1000円 当日 1200円 高校生以下 500円

会場：小金井宮地楽器ホール 小ホール (JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前) ☎042-380-8077

予約・問合せ：info@mistral-japan.co.jp ☎042-380-8270